

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2005-272658 (P2005-272658A)

【公開日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2005-039

【出願番号】特願 2004-88540 (P2004-88540)

【国際特許分類】

C 1 1 D 3/38 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/14 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/38

A 6 1 K 7/02 A

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/50

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 8 日 (2006.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) カチオン化グアーガムと、(B) カチオン化フェヌグリークガム、カチオン化タラガム、カチオン化ローカストピーンガムからなる群より選ばれる 1 種又は 2 種以上と、(C) アニオン性界面活性剤，両性界面活性剤，半極性界面活性剤，糖系ノニオン系界面活性剤から選ばれる界面活性剤とを含有し、高級ジエタノールアミドを実質的に含有しないことを特徴とする液体洗浄剤組成物。

【請求項 2】

(A) カチオン化グアーガムと、(B) カチオン化フェヌグリークガム、カチオン化タラガム、カチオン化ローカストピーンガムからなる群より選ばれる 1 種又は 2 種以上と、(C) 界面活性剤と、(D) シリコン化合物とを含有し、高級ジエタノールアミドを実質的に含有しないことを特徴とする洗浄剤組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち、本発明の請求項 1 は、(A) カチオン化グアーガムと、(B) カチオン化フェヌグリークガム、カチオン化タラガム、カチオン化ローカストピーンガムからなる群より選ばれる 1 種又は 2 種以上と、(C) アニオン性界面活性剤，両性界面活性剤，半極性界面活性剤，糖系ノニオン系界面活性剤から選ばれる界面活性剤とを含有し、高級ジエタノールアミドを実質的に含有しないことを特徴とする液体洗浄剤組成物である。本発明の

請求項 2 は、(A) カチオン化グアーガムと、(B) カチオン化フェヌグリークガム、カチオン化タラガム、カチオン化ローカストビーンガムからなる群より選ばれる 1 種又は 2 種以上と、(C) 界面活性剤と、(D) シリコン化合物とを含有し、高級ジエタノールアミドを実質的に含有しないことを特徴とする洗浄剤組成物である。